

# 町小だより

令和5年  
12月22日  
No. 681  
御免町小学校

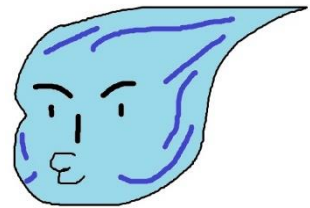
## 北風と太陽

校長 相澤 祐助

イソップ寓話に「北風と太陽」というお話があります。小さいころから読んだり、聞いたりしたことがきっとおありでしょう。大変有名なお話です。この二者の勝負は、温かい方、太陽に軍配が上がります。「強制よりも説得のほうがより効果的である」という内容です。確かに、誰もがその価値は認めるのですが、実はその勝負の前にもう一勝負あったようです。その二つの勝負から見えることは一体何でしょうか。

北風と太陽がお互いの力について言い争っていた。議論ばかりしていても仕方がないので、勝負をしようという話になった。

最初の勝負は、旅人の帽子を取ることだ。はじめに、太陽が旅人を照りつけると、旅人は日差しを避けようと帽子を深くかぶり、けっして脱ごうとはしなかった。今度は、北風が思いっきり強く、ビューと吹いた。すると、旅人の帽子は簡単に吹き飛んでしまった。



次の勝負は、旅人の上着を脱がすことだ。はじめに、北風がありったけの力で、ビューと吹きつけた。しかし、旅人はふるえあがって、上着をしっかりと両手で押さえるばかりだった。今度は、太陽が旅人を照らした。すると、旅人は上着を脱いで、気持ち良さそうに背のびをした。



このお話から見えてくるのは、北風、太陽のどちらにも力があるということではないでしょうか。時には厳しく、時には優しく、臨機応変に動くことの大切さを感じます。強制や圧力は人の心を苦しめることが多いですが、難しそうなものにチャレンジ、挑戦することは重要です。そして、いつでも心に寄り添い、温かな眼差しを届けることで人は元気になります。北風と太陽のどちらにも効果はあると思うのです。「北風は冷たくて、厳しいから嫌だ」と決めつけて見ないことも大切かと思えます。

今年の夏は太陽が照り続け、農作物や自然環境に大きな影響が見られました。酷暑の夏でした。一方、冬の今、猛烈な寒波が襲って来るという予報が出ています。大渋滞等の交通障害を引き起こす大寒波は嫌ですが、適度な降雪は必要なものとも思います。雪が降らないことによる水不足が心配だからです。

適度な寒さと温かさ、両方のバランスが私たちの生活には欠かせません。それは子どもたちにも言えるのではないのでしょうか。御免町小学校ではあらゆることに挑戦できる柔軟な心と体をこれからも育てていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、令和5年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。良い年末年始をお過ごしください。